

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 近畿財務局長

**【提出日】** 平成25年11月12日

**【四半期会計期間】** 第23期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

**【会社名】** 株式会社誠建設工業

**【英訳名】** Makoto Construction CO,Ltd

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 小 島 一 誠

**【本店の所在の場所】** 大阪府堺市中区福田46番地

**【電話番号】** 072-234-8410

**【事務連絡者氏名】** 取締役 中 村 剛 司

**【最寄りの連絡場所】** 大阪府堺市中区福田46番地

**【電話番号】** 072-234-8410

**【事務連絡者氏名】** 取締役 中 村 剛 司

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第22期 第2四半期 連結累計期間	第23期 第2四半期 連結累計期間	第22期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(千円)	2,138,675	2,426,365	4,529,182
経常利益	(千円)	126,628	258,392	303,449
四半期(当期)純利益	(千円)	66,399	156,776	174,622
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	50,783	137,374	213,207
純資産額	(千円)	2,577,587	2,827,086	2,740,011
総資産額	(千円)	4,953,467	5,068,047	5,434,289
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	33.00	77.92	86.79
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)			
自己資本比率	(%)	52.0	55.8	50.4
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	54,046	388,783	22,180
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	53,328	8,640	33,737
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	226,582	344,897	271,168
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	1,119,577	1,602,205	1,566,959

回次		第22期 第2四半期 連結会計期間	第23期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益	(円)	16.68	50.78

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 平成25年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行うとともに、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これにより、第22期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 財政状態の分析

##### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は4,094百万円となり、前連結会計年度末に比べ352百万円減少いたしました。これは、現金及び預金が25百万円増加いたしました。受取手形・完成工事未収入金が97百万円、たな卸資産が226百万円減少したことなどによります。

##### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は973百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円減少いたしました。これは、建物及び構築物が8百万円、投資有価証券が8百万円減少したことなどによります。

##### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,294百万円となり、前連結会計年度末に比べ281百万円減少いたしました。これは、1年内返済予定の長期借入金が38百万円増加いたしました。支払手形・工事未払金が175百万円、短期借入金が125百万円、1年内償還予定の社債が36百万円減少したことなどによります。

##### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は945百万円となり、前連結会計年度末に比べ172百万円減少いたしました。これは、社債が58百万円、長期借入金が114百万円減少したことによります。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,827百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円増加いたしました。これは、四半期純利益156百万円の計上、配当金の支払額50百万円などによります。

(2) 経営成績の分析

(売上高)

セグメントの名称		前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		
		売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)	前年同期比 (%)
戸建分譲 住宅事業	建売住宅事業	1,434,339	67.1	1,669,568	68.8	+16.4
	請負住宅事業	670,365	31.3	683,755	28.2	+2.0
	小計	2,104,704	98.4	2,353,324	97.0	+11.8
不動産仲介事業		33,970	1.6	73,040	3.0	+115.0
合計		2,138,675	100.0	2,426,365	100.0	+13.5

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融政策の見直しにより円高が是正され株式市況の回復から景気は緩やかに持ち直しつつあるものの、一方で円安の影響による原材料価格の高騰や、電気料金の値上げなどによる景気下振れの懸念材料に加え、雇用・所得環境も厳しい状況であり、景気の先行きについては依然として不透明感が払拭できない状況にあります。

当社グループが属する不動産業界におきましては、引き続き低金利の住宅ローン等の後押しもあり比較的堅調に推移しておりますが、同業者間の価格競争は依然として厳しい状況にあります。

当社グループにおきましては、建売住宅事業が消費税増税前の駆け込み等の影響により売上を伸ばした結果、戸建分譲住宅事業の売上高は2,353百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比較し248百万円（前年同期比11.8%）の増収となりました。

また、不動産仲介事業の売上高は73百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比較し39百万円（前年同期比115.0%）の増収となりました。

(売上総利益)

当第2四半期連結累計期間の売上総利益は491百万円（戸建分譲住宅事業が418百万円、不動産仲介事業が73百万円）となり、前第2四半期連結累計期間と比較し145百万円（前年同期比42.0%）の増益となりました。

(営業利益)

当第2四半期連結累計期間の営業利益は263百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比較し129百万円（前年同期比97.6%）の増益となりました。

(経常利益)

当第2四半期連結累計期間の経常利益は258百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比較し131百万円（前年同期比104.1%）の増益となりました。

(四半期純利益)

当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は156百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比較し90百万円（前年同期比136.1%）の増益となりました。

### (3) キャッシュ・フローの分析

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少額97百万円、たな卸資産の減少額226百万円等により資金を獲得しましたが、仕入債務の減少額175百万円、法人税等の支払額77百万円等の結果、388百万円の収入（前年同四半期は54百万円の収入）となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入80百万円等により資金を獲得しましたが、定期預金の預入による支出70百万円、投資有価証券の取得による支出11百万円等の結果、8百万円の支出（前年同四半期は53百万円の収入）となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入335百万円により資金を獲得しましたが、短期借入金の純減額125百万円、長期借入金の返済による支出410百万円、社債の償還による支出94百万円等の結果、344百万円の支出（前年同四半期は226百万円の支出）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は1,602百万円となり、前連結会計年度と比べ35百万円の増加となりました。

### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	7,000,000
計	7,000,000

##### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,012,000	2,012,000	東京証券取引所 (市場第二部)	(注)
計	2,012,000	2,012,000		

(注) 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式です。単元株式数は100株であります。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月30日		2,012,000		578,800		317,760

(6) 【大株主の状況】

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	平成25年9月30日現在
			発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
株式会社誠インベスト	大阪府堺市中区深井北町3169番地	643,000	31.95
株式会社誠リサーチ	大阪府堺市中区土師町5丁60-7-1	160,000	7.95
小島俊雄	大阪府大阪狭山市	120,000	5.96
小島一誠	大阪府大阪狭山市	104,000	5.16
株式会社不死鳥インベスト	大阪府堺市北区中長尾町4丁5-18	99,900	4.96
株式会社ホームリサーチ	大阪府堺市中区深井北町3169番地	95,000	4.72
株式会社フェニックス建設	大阪府堺市中区土師町5丁60-7-1	51,000	2.53
小島朝子	大阪府大阪狭山市	48,000	2.38
誠建設工業社員持株会	大阪府堺市中区福田46	45,700	2.27
小島真貴子	大阪府大阪狭山市	40,000	1.98
竹俊美	大阪府和泉市	40,000	1.98
計		1,446,600	71.89

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	平成25年9月30日現在
			内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,011,700	20,117	
単元未満株式	普通株式 300		
発行済株式総数	2,012,000		
総株主の議決権		20,117	

【自己株式等】

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	平成25年9月30日現在
					発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
計					

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づき、「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)に準じて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,828,132	1,853,980
受取手形・完成工事未収入金	<sup>2</sup> 640,132	542,776
販売用不動産	837,014	644,952
仕掛販売用不動産	793,546	807,350
未成工事支出金	265,713	217,761
その他	88,857	36,008
貸倒引当金	5,954	8,129
流動資産合計	4,447,442	4,094,700
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	150,276	141,358
土地	482,922	482,922
その他(純額)	8,436	14,281
有形固定資産合計	641,635	638,562
無形固定資産		
のれん	9,392	9,001
電話加入権	127	127
無形固定資産合計	9,520	9,128
投資その他の資産		
投資有価証券	297,230	288,501
その他	47,601	45,542
貸倒引当金	9,141	8,387
投資その他の資産合計	335,690	325,656
固定資産合計	986,846	973,347
資産合計	5,434,289	5,068,047
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	<sup>2</sup> 371,923	196,568
短期借入金	174,471	49,000
1年内返済予定の長期借入金	681,693	720,656
1年内償還予定の社債	158,000	122,000
未払法人税等	78,961	94,643
賞与引当金	5,728	6,785
完成工事補償引当金	2,304	2,353
その他	103,059	102,985
流動負債合計	1,576,142	1,294,993
固定負債		
社債	200,000	142,000
長期借入金	918,135	803,968
固定負債合計	1,118,135	945,968
負債合計	2,694,277	2,240,961

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	578,800	578,800
資本剰余金	317,760	317,760
利益剰余金	1,845,123	1,951,599
株主資本合計	2,741,683	2,848,159
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	1,671	21,073
その他の包括利益累計額合計	1,671	21,073
純資産合計	2,740,011	2,827,086
負債純資産合計	5,434,289	5,068,047

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,138,675	2,426,365
売上原価	1,792,581	1,934,898
売上総利益	346,094	491,467
販売費及び一般管理費		
役員報酬	27,276	24,924
給料及び手当	49,953	51,080
賞与引当金繰入額	3,264	3,642
法定福利費	10,668	10,968
販売手数料	23,141	23,455
広告宣伝費	21,844	21,973
租税公課	19,985	16,511
支払手数料	26,494	45,073
減価償却費	9,427	7,953
のれん償却額	391	391
その他	20,412	22,270
販売費及び一般管理費合計	212,860	228,244
営業利益	133,233	263,223
営業外収益		
受取利息	192	157
受取配当金	4,638	5,324
受取賃貸料	7,751	6,985
雑収入	782	1,078
営業外収益合計	13,364	13,546
営業外費用		
支払利息	13,847	13,717
支払保証料	2,689	1,679
雑支出	3,433	2,980
営業外費用合計	19,970	18,377
経常利益	126,628	258,392
特別損失		
投資有価証券評価損	11,287	-
投資有価証券償還損	3,163	-
特別損失合計	14,450	-
税金等調整前四半期純利益	112,178	258,392
法人税、住民税及び事業税	48,048	92,936
法人税等調整額	2,270	8,678
法人税等合計	45,778	101,615
少数株主損益調整前四半期純利益	66,399	156,776
少数株主利益	-	-
四半期純利益	66,399	156,776

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	66,399	156,776
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,616	19,402
その他の包括利益合計	15,616	19,402
四半期包括利益	50,783	137,374
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,783	137,374
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	112,178	258,392
減価償却費	11,756	10,492
のれん償却額	391	391
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,525	1,420
賞与引当金の増減額(は減少)	215	1,057
完成工事補償引当金の増減額(は減少)	154	48
受取利息及び受取配当金	4,830	5,482
支払利息	13,847	13,717
投資有価証券評価損益(は益)	11,287	-
投資有価証券償還損益(は益)	3,163	-
売上債権の増減額(は増加)	297,018	97,355
たな卸資産の増減額(は増加)	102,776	226,210
仕入債務の増減額(は減少)	227,279	175,355
前渡金の増減額(は増加)	9,160	41,150
前受金の増減額(は減少)	422	2,959
未成工事受入金の増減額(は減少)	2,857	20,401
その他	20,142	10,359
小計	174,283	476,481
利息及び配当金の受取額	4,830	5,482
利息の支払額	13,881	15,824
法人税等の支払額	111,185	77,356
営業活動によるキャッシュ・フロー	54,046	388,783
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	57,423	70,974
定期預金の払戻による収入	114,362	80,372
投資有価証券の取得による支出	11,526	11,580
投資有価証券の償還による収入	5,669	-
有形固定資産の取得による支出	-	7,664
出資金の売却による収入	200	-
保険積立金の積立による支出	290	1,162
長期貸付金の回収による収入	446	102
その他	1,890	2,267
投資活動によるキャッシュ・フロー	53,328	8,640
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	64,000	125,471
長期借入れによる収入	301,000	335,700
長期借入金の返済による支出	302,766	410,904
社債の償還による支出	110,600	94,000
配当金の支払額	50,216	50,221
財務活動によるキャッシュ・フロー	226,582	344,897
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,088	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	120,295	35,245
現金及び現金同等物の期首残高	1,239,873	1,566,959
現金及び現金同等物の四半期末残高	<sup>1</sup> 1,119,577	<sup>1</sup> 1,602,205

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形裏書譲渡高	242,521千円	344,636千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しておりません。

なお、前連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が、連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	32,105千円	
支払手形	12,162千円	

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金	1,375,737千円	1,853,980千円
預入期間が3か月を超える 定期預金	256,159千円	251,775千円
現金及び現金同等物	1,119,577千円	1,602,205千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	50,300	2,500	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	50,300	2,500	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(注) 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っておりますが、上記配当金については、当該株式分割前の株式数を基準に配当を実施しております。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	戸建分譲住宅事業			不動 産 仲 介事業	合計		
	建売住宅 事業	請負住宅 事業	小計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,434,339	670,365	2,104,704	33,970	2,138,675		2,138,675
セグメント間の内部売上高 又は振替高		106,847	106,847	15,741	122,588	122,588	
計	1,434,339	777,212	2,211,552	49,712	2,261,264	122,588	2,138,675
セグメント利益	217,515	97,682	315,198	49,712	364,910	18,815	346,094

(注)1. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	戸建分譲住宅事業			不動 産 仲 介事業	合計		
	建売住宅 事業	請負住宅 事業	小計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,669,568	683,755	2,353,324	73,040	2,426,365		2,426,365
セグメント間の内部売上高 又は振替高		539,843	539,843	24,807	564,651	564,651	
計	1,669,568	1,223,599	2,893,168	97,848	2,991,016	564,651	2,426,365
セグメント利益	298,624	118,092	416,717	97,848	514,566	23,098	491,467

(注)1. セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第2半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益	33円00銭	77円92銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	66,399	156,776
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	66,399	156,776
普通株式の期中平均株式数(株)	2,012,000	2,012,000

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 平成25年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行うとともに、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これにより、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月12日

株式会社誠建設工業

取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 荒井 憲 一 郎 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 梅 原 隆 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社誠建設工業の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社誠建設工業及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。